

第2号様式（第3関係）

平成24年度第3回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成25年3月25日（月）午後2時から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
(役職及び氏名) 会長：岡田洋司
委員：野村昌敏、渡辺博史、岡島 剛、谷口富士子
宮沢洋子、岡島千衣子、山田久美子、大野容子
(欠席) 山本達三、石黒俊彦、安藤証一
事務局：松田康朗教育長、坪井悟教育部長、水野典昌生涯学習課長
佐藤正司係長、加藤秋夫生涯学習指導員
- 4 議題 (1) 平成25年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について
(2) 平成24年度生涯学習学級講座受講状況について
- 5 会議資料 ・平成24年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画（資料No.1）
・平成24年度生涯学習学級講座受講状況（資料No.2）
・生涯学習情報誌「生きがいタウンNo.37」
- 6 議事内容
(司会) 本日は、お忙しい中、定刻までにご参集いただきありがとうございます。ただ今から第3回生涯学習推進審議会を開催します。なお、本日、山本委員、石黒委員、安藤委員より欠席の連絡をいただいておりますので報告させていただきます。

—配布資料の確認—

それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。
(会長) 年度末のお忙しい中、会議に出席いただきありがとうございます。今年一年が過ぎてまとめをしなければいけません。生涯学習を取り巻く流れは難しい状況にあります。と言いますのも、バブル景気以降、物事をコツコツと行うことがなくなり、学習も興味のあるものに流される傾向になったような気がします。日頃の勉強を積み上げるのが生涯学習の姿だと思いますので、本来の姿をめざしていきたいと思っております。
(司会) 続きまして、教育長よりあいさつを申し上げます。

- (教育長) ご多用のところご出席をいただきありがとうございます。
- 本町の生涯学習は平成22年3月に策定した「生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画」をもとに進めております。策定に際しては、住民アンケートやパブリックコメントなど行い、町民の皆さんのご意見をお聞きする中で、この地域に見合った新たな生涯学習の方向付けを決めさせていただきました。今年度末で3年が経過しますが、進むべき方向性は大きくずれておらず、もうしばらくこの計画で進めて行こうと思えます。
- 次年度に向けた生涯学習の更なる充実のために、皆さまからご意見をいただきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。
- (司会) それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長をお願いします。
- (会長) 議案(1)「平成25年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について」事務局より説明をお願いします。
- ～平成25年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について～
資料NO.1により説明。
- (会長) 生涯学習基本構想の考え方などを復習する格好で説明いただきました。非常に広範囲にわたる内容で、どのような角度からでもかまいませんので、ご質問やご意見などはありませんか。
- (委員) 「ともに学び、伝え、交流する」というテーマで実践されている生涯学習基本計画・基本構想は、盛りだくさんの内容で充実したものだと思います。わたしは「ふれあいひろば」のお手伝いをしています。最初は与えられた材料だけで作品制作をしていた子どもたちが、今では持ち寄りだったり自分で工夫するようになりました。子どもたちの一歩進んだ姿に喜びを感じています。
- (委員) サークル活動の活性化の話がでました。私は小さなサークルに入りささやかに園芸を楽しんでいます。同じ趣味を持つ仲間が連携しあい、益々、発展していけたらいいなと思ひます。
- (委員) 読書会の回数が年間2回から4回になりました。今の子どもたちにはこの事業が必要だ、社会教育センターのほかに福祉センターでもやりたいという情熱的な会員の意向によってそうなったと聞きました。
- 生涯学習はコツコツやるのが大切です。啓発は情報誌などの文字だけではなく、参加された方の口コミによって広げていただければと思ひます。サークル発表の場を設けると何回もお聞きしていますが、どのようなイメージでお考えでしょうか。
- (事務局) 新基本構想とともに、ぜひ実現したい事業と位置づけ、現在のところ情報収集を行っている最中です。人口規模は違ひますが小牧市の生涯学習フェスティバルを参考にしていきたいと思ひます。
- (会長) 地域の生涯学習の担い手を育てるのも口コミが一番だと思ひます。

たとえば、サークルに参加することでロコミの輪を広げていく。1万人の人口の1%は100人です。講座やサークルの参加者が意識的にロコミの輪を広げれば100人も夢ではありません。

(委員) 住民からこういう講座をやってほしいというリクエストはありますか。

(事務局) 講座参加者のアンケートを実施しており、リクエストをお聞きしています。趣味的なものを求められることが多く、全て講座として取り上げるわけではありません。すでにクラブやサークル化されているものは紹介するなど個々に対応しています。

(会長) 何が何でもすぐに講座開設でなくても、サークルなどを紹介する形で十分だと思います。

「学習」という言葉に堅苦しいイメージがあるのではないのでしょうか。

(委員) 小中学生は、家庭の中で親や祖父母の影響を受けています。学習ということばに関係なく、学校でやっていないものは、新鮮で興味があるものであれば取り組むと思います。

(会長) どうやって町民に受け入れられるかを考えて、硬いイメージで捉えられているのなら変えれば良いと思います。

(事務局) ひとつ成功例をあげます。乳幼児学級は、学習という硬いイメージから参加者が少ない講座のひとつでしたが、赤ちゃん広場とのコラボによって参加しやすいものになりました。

(会長) やはり町民へのPRには工夫が要ります。硬めのものと、受けの良いものとのバランスのとり方がポイントです。生涯学習と聞いただけで引く人でも、切り口を変えれば印象が変わります。たとえば、情報誌の表紙の作り方ひとつでも効果があると思います。

(事務局) 他の市町では、週刊誌の表紙のような作り方をしているところがあるので、参加にしたいと思います。

(委員) 豊寿大学のように常に定員を超えるものがあります。これ以上増えると困りませんか。

(事務局) 会場の収容数に限りがあるので、現在の定員が限界と考えます。

(会長) 豊寿大学は例外かもしれませんが、参加して良かったという感覚をもってもらうことにより、ロコミで広げることが大切ですね。

(会長) 正直申して実施計画は盛りだくさん過ぎます。全て完璧に実施することは不可能ですので、重点目標を絞り込んだ方が良くはないでしょうか。

(委員) おやじの会の進捗状況はどうですか。

(事務局) おやじの会は、本年度設立に向け準備を進めてきましたが、町の方針により保留となりました。しかし、3小学校中の2校におやじの会がありますので、今後もう1校についても働きかけていくつもりです。

(委員) おやじの会は、現在、PTA活動の一環で行っています。母親を通じて父親の参加につなげています。主な活動としては、夏休みや冬休みに

サッカーや餅つきをしたり、環境整備活動として遊具のペンキ塗りなどを行っています。

(委員) 読書会の話にもどります。実施回数を4回に増やすことからクラブ員は大変盛り上がっているとのこと。

(会長) 町民が何をしたいかを見極めることが基本であり、それをフォローすることが全体の盛り上がりにつながっていきます。サークルを作って維持することは難しいことかもしれませんが、色々な人が色々な形で支援することによって活性化していきます。

(委員) 健康体力測定会の結果が手元に残りません。自分の体力がどのレベルなのか毎年のデータで比較できればいいと思います。

(事務局) データを提供できるようにします。

(委員) 豊寿大学に参加して色々な体験をさせていただきました。内容も充実しており、来年度もぜひ参加したと思います。ただ、男性が64人中4人と少ないのは残念です。

(会長) なぜ、男性が少ないのでしょうか。私は豊田市の高齢者教室に係わっていますが参加比率はほぼ半々、少なくとも男性4、女性6です。

(委員) 男性枠を10人くらい確保してはどうでしょうか。

(委員) ただでさえ人気講座なので、女性参加者から苦情がでると思います。

(事務局) 参加された男性のロコミが大切なので、宣伝をよろしくお願いします。

(委員) 仕事をしているので中々連続した講座には参加できませんが、単発講座なら参加できるかもしれません。男性は生涯学習のことを知らない人が多いような気がします。おやじの会は、男性同士が集まる良い機会なので、仲間づくりや情報交換の場になると思います。

(委員) 私もロコミが大切と思います。主人が定年退職したので何かやらせたので、生涯学習情報やロコミなどを参考にしたいと思います。

(会長) 学びは勉強だけではありません。仲間や友だちをつくる良いツールと考えてみてはいかがでしょうか。その点、女性は無意識のうちに入っていけるような気がします。

(会長) 他に、質問やご意見はありませんか。

何もなければ第1号議案「平成25年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

(会長) 第1号議案「平成25年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について」は全員の拍手で承認されました。

続きまして、第2号議案「平成24年度生涯学習学級講座受講状況について」について事務局から説明をお願いします。

～平成24年度生涯学習学級講座受講状況について～

資料NO.2により説明。

- (会長) 事務局の説明が終わりました。いくつか参加率の悪いものもありますが、全体としてまずまずの結果ではないでしょうか。今の説明について何かご質問ご意見はありますか。
- (委員) 中国気功教室の参加率が悪いのは、何か思い当たる理由はありますか。
- (事務局) 名前のイメージと冬場の開催で会場が寒かったことが影響したかもしれません。講座名と実施時期の変更を検討しています。
- (会長) ちょっとした工夫でイメージが変わることもあります。お気づきの点があればご指摘してください。
歴史講座の参加者が少なかったですね。
- (事務局) やはり硬いイメージが先行したのでしょうか。内容的には、大山川の歴史、隣村との水争いがあったことなどを取り上げ興味深いものだったので、定員の6割と少なかったのは残念です。
- (委員) 参加された方の話をききましたが、とても喜んでみえました。
- (事務局) 宣伝の仕方が悪かったかもしれません。勉強的色彩が濃い講座は敬遠されがちですが、そういった方の口コミを信じて、良い講座を提供していきたいと思います。
- (会長) 官学連携講座に係わっています。25年度は、全体を通してお話を聞くだけでなく、何かやってもらおうと思っています。1回目は、自分史を実際に書いてもらいますし、2回目はおしゃれの話、3回目は体力トレーニングで盛り上がりようと思っています。宣伝をよろしく願います。
- (委員) 鉄崎幹人さんの自然探検隊は、親子でないと参加できないでしょうか。大人を対象に、山や自然の中を歩きながら植物や鳥などの説明を聞ける講座をお願いしたいのですが。
- (事務局) 多忙な鉄崎さんに、これ以上講座をお願いすることは難しいと思います。しかし、他の講師なら講座を開設することは可能ですので検討させていただきます。
- (委員) 絵手紙をやりたいと方がいますが。
- (事務局) 現在、活動しているサークルがありますので紹介します。
- (会長) 色々な意見がでましたが、やはり口コミが生涯学習の突破口、核となるような気がします。今後ともよろしく願います。
他に、質問やご意見はありませんか。
何もなければ第2号議案「平成24年度生涯学習学級講座受講状況について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。
(拍手)
- (会長) 第2号議案「平成24年度生涯学習学級講座受講状況について」は全員の拍手で承認されました。
続きまして「その他」に入ります。事務局から何かありますか。
- (事務局) 特にありません。

(会長) 皆様のご協力により、本日の議題は全て終了しました。熱心な論議と貴重なご意見をいただき実のある会議になったことに感謝申し上げます。本日はお疲れさまでした。

上記のとおり平成24年度第3回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成25年3月27日

会 長 岡 田 洋 司

署名人 宮 沢 洋 子